



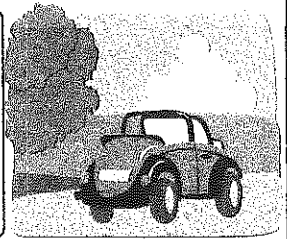
# 高速しが

平成29年  
8月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

## ルールを守って安全運転

高速道路では、夏場の行楽車輛や帰省車輛などが集中して渋滞が起こります。また、この時期に交通事故も多発しますので、次の事を守り安全運転に心掛けて下さい。

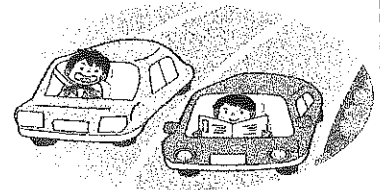


### ルール① 事前に車輛整備・給油をしておきましょう

\* 運転前には、燃料を確認し、タイヤの摩耗・空気圧のチェック、冷却水やエンジンオイルの確認をしましょう。

### ルール② 危険行為はやめましょう

\* 路肩走行・路肩停車・料金所前での時間調整・二輪車のすり抜けなどは大事故に繋がります。「これくらいは大丈夫だろう」と言う自分勝手な行動は絶対やめましょう。

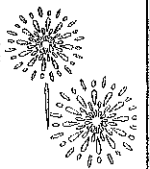


### ルール③ 十分に車間距離を取りましょう

\* 前車が万が一、急減速・急停止しても、追突を避けられるだけの車間距離を取って走行しましょう。

(時速100kmの時は100m、時速80kmの時は80m以上の車間距離が必要です)

## びわこ大花火大会に伴う渋滞情報



今年も恒例の花火大会が8月8日(火)に開催されます。

(荒天時は8月11日(金)に延期)

大津インターチェンジ周辺では見物車両の路肩停止や脇見による減速等によって、本線車道が渋滞することが予想されます。

花火当日は、京滋バイパスを利用して頂き、渋滞緩和に御協力をお願いします。

# あなたの車は大丈夫??

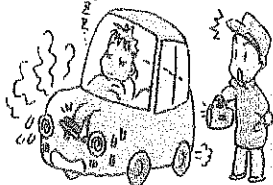
猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あります。例年この時季には車両火災の発生が予測されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を再認識して頂いて、火災事故を起こさないため走行前の点検をしてください。

## ★ エンジンオイルの点検を忘れずに!

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイル量が減っていたり、交換時期を忘れてオイルの劣化を招くと潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

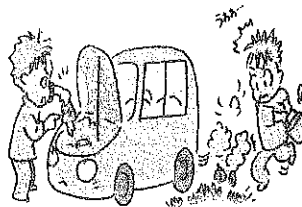
## ★ 車中仮眠はエンジンを切ってから!

エンジンをかけたままでの車中仮眠は、知らず知らずのうちにアクセルを踏み込むことでエンジンが高回転を続けて異常に加熱し、車両火災を引き起こすことがあります。また、燃料の無駄遣いや騒音公害のほか、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性も高くなるので、絶対にやめましょう。



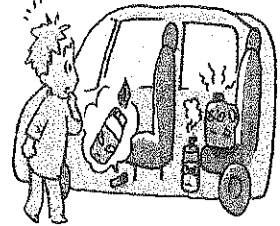
## ★ 駐車場所は安全ですか?

高速走行後、エンジンや排気管が熱くなっているとき、枯れ草や紙くずなどがある駐車場に、無関心のままエンジンをかけた状態で駐車したり、長時間駐車しておくと、高温となっているエンジンやマフラーなどの熱によって発火する危険があります。



## ★ 車内に燃えやすいものを置いていませんか?

高温になる車内に、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などは溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



## 高速道路での「逆走」が増加!!

### 【高速道路での逆走事故を防ぐポイント】

#### ☑ 進行方向をしっかり確認する!

インターチェンジやサービスエリアなどから本線に流入する時は、案内標識や道路標示で進行方向をしっかり確認しましょう。

#### ☑ 本線でのUターンや後退は絶対禁止!

インターチェンジを通り過ぎた時は、次のインターチェンジまで行き、高速道路を降りてから再度利用しましょう。